

第1学年 音楽科学習指導案（略案）

○組 計 38 人
指導者 ○○ ○○

- 1 題材 どれみであそぼう
教材 「どれみあそび」
「もりのきりかぶ」 高木あきこ作詞 黒沢吉徳作曲
「ひのまる」 文部省唱歌 高野辰之作詞 岡野貞一作曲（本時主教材）

2 本時（4 / 5）

(1) 目標

ア 階名唱をしながらドレミ体操をしたり、主旋律を鍵盤ハーモニカで演奏したりすることができる。

【知識及び技能】

イ 階名で歌ったり、階名を基に鍵盤ハーモニカを演奏したりすることに興味をもち、粘り強く音楽活動に取り組むことができる。【学びに向かう力、人間性等】

(2) 本時の展開に当たって

音の高さと階名を結び付けるためにドレミ体操の活動を取り入れ、体を動かすことで楽しい音楽活動ができるように設定する。

(3) 実際

過程	主な学習活動	時間	教師の具体的な働きかけ
課題把握	1 今月の歌やリクエスト曲を歌う。	15	○ 活動に対する意欲を高めるために、既習曲を歌わせるようにする。 ○ 本時のめあてを導き出すために、「前の時間は何をしたかな。」と問いかけ、前時の学習を想起させるようにする。 ○ ドレミ体操をする活動への意欲をもたせるために、教師が範唱しながらドレミ体操をやってみせるようにする。
	2 「ひのまる」を歌い、本時の学習について話し合う。 どれみだいそうをしながら、どれみでうたおう。 ・ まえのじかんは、どれみだいそうをやって、たのしかったな。 ・ きょうもやってみたいな。		
課題追求	3 ドレミ体操をしながら「ひのまる」を階名で歌う。 ・ 一斉に ・ 一人で	25	○ 音の高さと階名を結び付けることができるようにするために、ドレミ体操をしながら階名唱させるようにする。 ○ 鍵盤ハーモニカをきれいな音色で演奏することができるようにするために、息づかいに気を付けさせるようにする。 ○ 鍵盤ハーモニカの演奏への意欲を高めるために、姿勢をよくして演奏していた子供を取り上げ、賞賛するようにする。
まとめ	4 鍵盤ハーモニカで「ひのまる」を練習し、歌と組み合わせて演奏する。 ・ 一人で練習 ・ 隣の友達と交互奏	5	○ 次時への意欲をもたせるために、演奏できた喜びや楽しさを発表し合うようにする。
	5 学習のまとめをする。 ・ きょうもどれみだいそうができて、たのしかったな。 ・ けんぱんはあもにかといっしょにうたって、たのしかったな。		